

環境生態学特論

Advanced Environmental Ecology

4 単位 (選択)

鎌田 磨人・教授 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 社会基盤工学講座

河口 洋一・准教授 / 知的力学システム工学専攻 建設創造システム工学コース 環境整備工学講座

【授業目的】健全な生態系の保全や再生に必要な理論や技術的課題を理解し、今後、その技術を発展させるために必要な応用力を身につける。

【授業概要】様々な場における生態系の現状や問題点を整理し、それを克服するための視点の持ち方や、取り組むべき研究、技術開発の方向性等について講義・討議する。1. 生態系管理のための学際的視点, 2. 生態系の現状と問題点, 3. 生態系の構造と機能 を把握するための視点 (人間の生活・社会の変化と生態系の変貌), 4. 生態系の管理・再生. 講義ごとに課題を与えるので、各自が主体的に取り組み、レポートにまとめる。

【授業形式】講義形式とポートフォリオ形式の併用

【キーワード】生態系管理, 環境保全, 自然再生

【到達目標】生態系の保全・再生を行っていくための視点を持ち、それを実践していくための応用力が身についている。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 生態系管理を行うための学際的な視点 1
3. 生態系管理を行うための学際的な視点 2
4. 生態系の現状と問題点 1
5. 生態系の現状と問題点 2
6. 生態系の現状と問題点 3
7. 生態系の現状と問題点 4
8. 生態系の構造と機能 を把握するための視点 1
9. 生態系の構造と機能 を把握するための視点 2
10. 生態系の構造と機能 を把握するための視点 3
11. 生態系の構造と機能 を把握するための視点 4
12. 生態系の管理・再生を行うために 1
13. 生態系の管理・再生を行うために 2
14. 生態系の管理・再生を行うために 3
15. 総合討論-自らの専門性を活かすために / レポート

【成績評価基準】関連する講義後に課すレポートの内容により評価し、評点が60%以上を合格とする。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216599>

【対象学生】他学科, 他学部学生も履修可能

【連絡先】

⇒ 鎌田 (A306, 088-656-9134, kamada@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること。)

⇒ 河口 (308, 088-656-9025, kawaguchi@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜午後)